



3年ぶりの古館祭開催

コロナ禍のために2年連続で中止になっていた古館祭が3年ぶりに開催されました。本来であれば、保護者はもちろんのこと、地元の方々や小中学生にも来校していただきたいところでしたが、来場者を限定した開催になりました。また、学校祭でお馴染みの模擬店の出店を見送るなど制限が多くありましたが、3年生には最初で最後の古館祭となり、高校生活の良き思い出になりました。

9月30日の校内発表は、オープニングムービーから始まり、参加団体PR、「農業と環境」発表、吹奏楽部演奏、有志団体の発表がありました。生徒会執行部主催イベントには教職員も参加し、翌日に向けて徐々に盛り上がりを見せました。午後は各クラスや部活動が趣向を凝らした発表・展示の準備を行い一般公開に備えました。

10月1日の一般公開では、来場者・生徒が校内を回り3年ぶりの古館祭を大いに楽しんでいました。水産科では科の特徴を発揮した実習の生産物販売や金魚すくいや釣りを行いました。多くの保護者から出品の協力を得たPTAバザーは大変盛況で、前回は大きく上回る売り上げがありました。エンディングでは古館祭の写真がスライドショーで映し出され、2日間の楽しい雰囲気伝わってきました。

古館祭の開催にあたっては、企画・運営に携わった生徒会役員が大いに活躍しました。また、各クラス等の発表・展示も素晴らしく、地域に根ざした馬頭高校らしい古館祭でした。コロナ禍で多くの学校行事が中止になってきましたが、古館祭はクラスの団結を図り、学校への帰属意識を高める学校行事であることを再確認できました。

